

(別紙2)

企画提案書作成要領

1 様式等

- (1) 企画提案書の様式は任意とします。(参考様式)を参考としてください。
- (2) 用紙の規格は、A4判縦長(図面等を表示するためにA3折り込みは可)とします。
- (3) 文章を補完するために、写真、イラスト等を使用しても構いません。
- (4) 様式に書ききれない場合は、適宜枚数を増やしても構いません。

2 企画提案書に記載する項目は、企画提案説明書の「2 業務の内容」に関する次の事項です。

(1) 会社概要

様式を参考に各項目を記入してください。

(2) 総括責任者及び業務担当者

総括責任者及び業務担当者は、当該業務を実際に担当する方を知るためのものです。

企画提案書提出後に当該業務を担当できなくなった場合は、プロポーザル選定を取り消すことがありますので、確実に担当できる方の氏名、役職、経験年数、主な実績を記入してください。

(3) 業務実施体制

当該業務を実施するに当たっての体制として、計画作成、捕獲実施、捕獲成果取りまとめなどの業務別の実施体制と配置予定者氏名、業務経歴、役割等を記入してください。なお、配置予定者について同種又は類似業務の実績があれば業務経歴に記入してください。

また、連携する外部機関がある場合は、当該機関との関係についても記入してください。

(4) 捕獲計画

捕獲計画は、次の事項に基づき作成してください。

ア 地区

本業務における地区は小平町大楨・花岡地区(道有林67林班)とします。なお、地区特性や留意事項等は別表1を参照願います。

イ 捕獲計画の作成

捕獲計画については、捕獲実施計画書(案)を踏まえ、別表1を参考の他、必要に応じ現地調査等を行い作成してください(道有林のため、入林の際は申請が必要となりますので、ご留意下さい)。また、次の内容について記載してください。

(ア) 捕獲の実施

次のa、bにおける内容について記載してください。

a 実施方法

- (a) 目標頭数とその根拠について(捕獲実施計画書(案)の目標頭数は各わなでそれぞれ20頭としていますが、本事業は多雪強風地域におけるエゾシカ捕獲の技術開発という側面があるため、明確な意図と根拠を示せば、20頭以下に捕獲目標数を設定しても構いません。)
- (b) 捕獲実施手順(捕獲準備・捕獲・捕獲個体の回収)とその方法、規模、資材及び人数
- (c) 当該業務において捕獲した個体の確認方法
- (d) 捕獲個体の処理方法(廃棄物・食肉利用等)、受入れ先、受入れ能力及び条件

(e) 錯誤捕獲への対応方法（特にヒグマの錯誤捕獲について）

b 安全管理

(a) 捕獲業務実施者の安全管理及び連絡体制

(b) 荒天時の捕獲作業中止の判断基準等を含めた安全管理

(c) ヒグマの錯誤捕獲や捕獲したエゾシカへの誘引防止、またはヒグマが出没した場合の対処法について考慮された安全対策。

(d) 捕獲地周辺の住民等に対する周知方法

(イ) 捕獲手法の検証

a 囲いわなについて

(a) 冬場にエゾシカが滞留していると想定される常緑針葉樹林内（トドマツ林内等）から囲いわなまでの間に、誘引餌を効果的に配置することによる効果的な誘引方法。

(b) 囲いわなのパネルを取り払うなど、多雪強風地域であることを考慮したわなの設計。なお、囲いわなは30㎡以内の規格とする。

b くくりわなについて

(a) 冬場にエゾシカが滞留していると想定される常緑針葉樹林内（トドマツ林内等）と冬場にシカが利用している移動経路上を中心に、わなを仕掛ける場合の運用方法及び捕獲状況や積雪等の状況により設置箇所を変更しながら効率的に捕獲可能なくくりわなの運用方法。なお、くくりわな設置の際は樹木が損傷しないように配慮した設置方法とすること。

c 囲いわな・くくりわな共通事項

(a) スノーモービル等を用いたわなの点検及び管理を実施した場合の労力軽減効果の検証方法。

(b) スノーモービル等による轍が誘導路としての効果を有するかの検証方法。

(c) ヒグマを誘引しないよう配慮された、誘引餌の種類。

(ウ) 普及啓発資料の作成

a 多雪強風地域におけるエゾシカ捕獲技術をとりまとめた、A4版両面印刷1枚程度の普及啓発資料の作成計画。

ウ 留意事項

(ア) 捕獲計画の立案に際し、ICT（情報通信技術）等の活用、捕獲と回収の分業など、効率的及び省力的な方法について検討してください。

(イ) 捕獲個体の確認方法については、市町村で実施している有害捕獲や狩猟と異なる個体として識別できる方法としてください。

(ウ) 捕獲個体は、原則全頭回収とします。

(エ) 捕獲した個体の処分については、食肉やペットフードなどできる限り有効活用に努め、困難な場合は、一般廃棄物として適正に処理してください。

(5) 業務のスケジュール

契約締結から事業完了までのスケジュール及び捕獲準備から捕獲・処分に係るスケジュールについて詳細に記入してください。

(6) 経費の見積価格

対象となる経費は、別表2の範囲とします。

消費税及び地方消費税相当額を含む価格及び積算内訳について、記入してください。

見積価格については、契約締結日から令和6年3月22日（金）までの期間に係る経費を想定して、算出してください。

3 企画提案書の提出

(1) 提出部数 8部

ア 事務局保管用

①部数 1部

②企画提案書は、クリップ留めにしてください（ホッチキス不可）。

イ 審査会用

①部数 7部

②企画提案書の表紙に企画提案者及び企画提案者の構成員が特定できる名称を記入しない。

③「2 総括責任者及び業務担当者」の項目において企画提案者や企画提案者の構成員が特定される文言を記入しない。

④「3 業務実施体制」の項目において企画提案者や企画提案者の構成員が特定される文言を記入しない。

⑤企画提案書はクリップ留めしてください（ホッチキス不可）。

(2) 提出期限 令和5年（2023年）9月4日（月） 17時必着

(3) 提出方法 提出場所に持参又は郵送（特定記録、書留、簡易書留のいずれか）してください。

(4) 提出場所 北海道留萌振興局保健環境部環境生活課 〒077-8585 留萌市住之江町2丁目1番地2 電話番号 0164-42-8436

(5) その他

ア 電子データによる提出は認めません。

イ 選定された企画提案書は返却しません。

ただし、選定されなかった企画提案書は、提出時に希望した者に限り返却します。

ウ 企画提案書の作成・提出に係る費用は、提出者の負担とします。

4 企画提案書に関するヒアリング

プロポーザル審査会においてヒアリングを実施します（日時場所等については別途通知します）。

なお、ヒアリングに参加しない場合事業者の企画提案書は無効とします。

ただし、天災等、やむを得ない事情がある場合は、別途判断します。

5 照会窓口

本業務の企画提案に関する問い合わせ先は次のとおりです。

(1) 照会先

上記3（4）に同じ。

(2) 照会期限

令和5年（2023年）9月4日（月）17時まで